

2 こどもの朝食のとり方

平成22年出生児について、「朝食を食べる」の割合は9割以上となっている。また、「朝食を食べない」こどもについて、その理由を平成13年出生児と比べると、「朝は食欲がない」が上昇している

平成22年出生児について、第11回調査（小学5年生）から第14回調査（中学2年生）までのこどもの朝食のとり方をみると、「朝食を食べる」の割合は9割以上となっている。そのうち、主食、主菜、副食を「いつもバランスよく食べている」の割合は3割以上であり、この傾向は平成13年出生児も同様である。（表1）

一方、「朝食を食べない」こどもについて、食べない理由を平成13年出生児と比べると、「朝は食欲がない」が上昇しており、「食べる時間がない」は低下している（図3）。

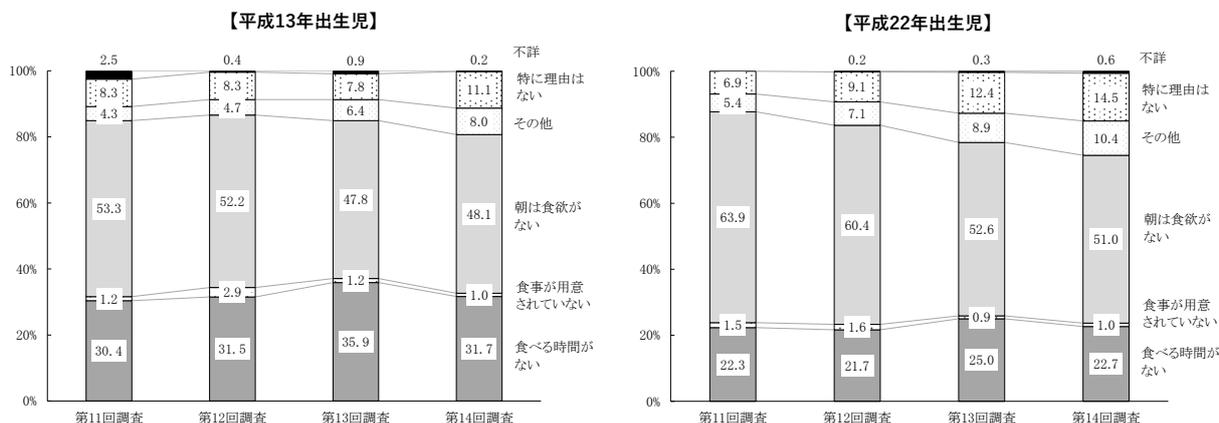
表1 こどもの朝食のとり方の変化・世代間比較

(単位:%)

		第11回調査 (小学5年生)	第12回調査 (小学6年生)	第13回調査 (中学1年生)	第14回調査 (中学2年生)
平成13年 出生児	総数	100.0	100.0	100.0	100.0
	朝食を食べる	97.1 (100.0)	96.6 (100.0)	98.0 (100.0)	97.7 (100.0)
	（再掲）いつもバランスよく食べている	(35.2)	(35.8)	(36.8)	(35.8)
	ときどきバランスよく食べている	(49.5)	(47.8)	(45.0)	(43.7)
	バランスよく食べることはほとんどない	(15.1)	(16.2)	(18.0)	(20.3)
朝食を食べない	1.8	2.0	1.3	1.9	
平成22年 出生児	総数	100.0	100.0	100.0	100.0
	朝食を食べる	97.6 (100.0)	96.4 (100.0)	96.6 (100.0)	95.7 (100.0)
	（再掲）いつもバランスよく食べている	(31.9)	(32.5)	(37.7)	(37.1)
	ときどきバランスよく食べている	(46.9)	(45.5)	(41.3)	(40.7)
	バランスよく食べることはほとんどない	(21.0)	(21.9)	(20.8)	(21.9)
朝食を食べない	1.8	2.8	1.9	2.8	

- 注：1）第11回調査から第14回調査まですべて回答を得た者（平成13年出生児 27,189、平成22年出生児 18,005）を集計。なお、第13回調査より「朝食を食べる」には「朝食を食べないことがある」が含まれる。
 2）総数には「朝食のとり方不詳」が含まれる。
 3）（ ）内は「朝食を食べる」と回答した者を100として集計。なお、「朝食を食べる」には「バランス不詳」が含まれる。

図3 朝食を食べないこどもの食べない理由の変化・世代間比較

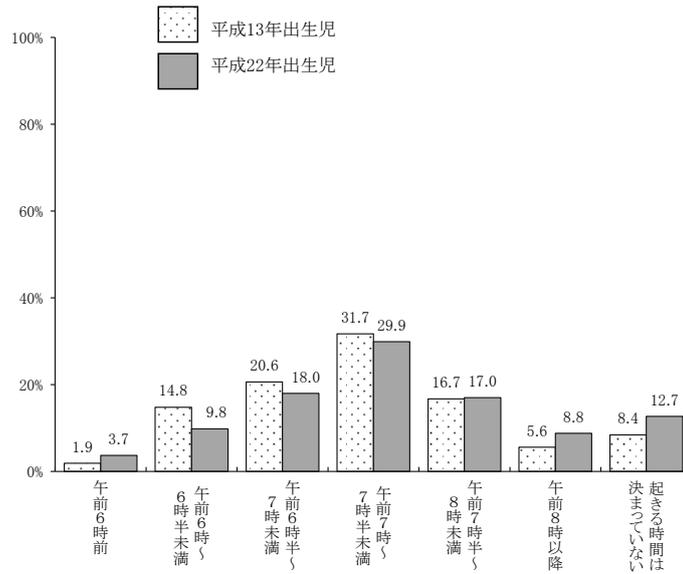


注：第11回調査から第14回調査まですべて回答を得た者のうち、「朝食を食べない」と回答した者（平成13年出生児 第11回調査484、第12回調査552、第13回調査345、第14回調査514、平成22年出生児 第11回調査332、第12回調査507、第13回調査348、第14回調査512）を集計。

平成 22 年出生児について、朝食を食べないこどもの平日の起床時間をみると、「起きる時間は決ま
っていない」は 12.7%と、平成 13 年出生児の 8.4%に比べて 4.3 ポイント高くなっている（図 4）。

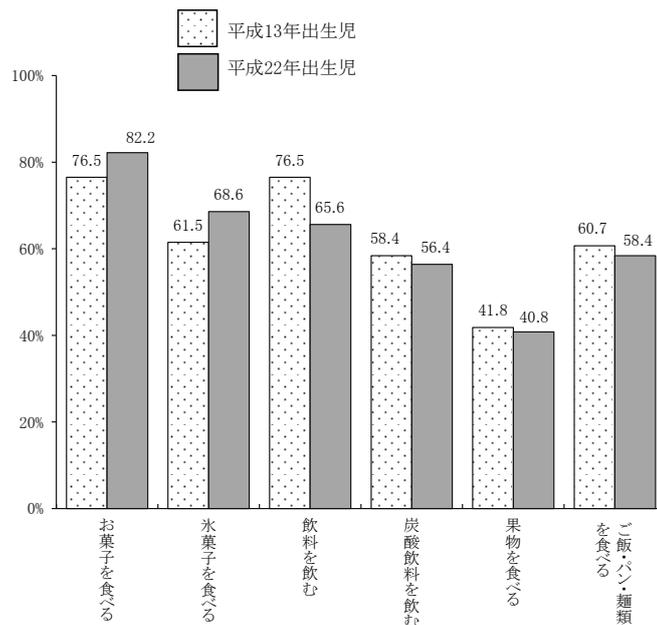
また、学校が終わった後、寝るまでの間に、朝食を食べないこどもが間食をとる（「よく食べる・よ
く飲む」「ときどき食べる・ときどき飲む」）状況をみると、「お菓子を食べる」は 82.2%と、平成 13 年
出生児の 76.5%に比べて 5.7 ポイント高く、「氷菓子を食べる」は 68.6%と、平成 13 年出生児の 61.5%
と比べて 7.1 ポイント高くなっている（図 5）。

図 4 朝食を食べないこどもの平日の起床時間・世代間比較



注：第 11 回調査から第 14 回調査まですべて回答を得た者のうち、「朝食を食べない」と回答した者（平成 13 年出生児 第 14 回調査 514、平成 22 年出生児第 14 回調査 512）を集計。

図 5 朝食を食べないこどもの間食をとる状況・世代間比較



注：第 11 回調査から第 14 回調査まですべて回答を得た者のうち、「朝食を食べない」と回答した者（平成 13 年出生児 第 14 回調査 514、平成 22 年出生児第 14 回調査 512）を集計。